かつたっ子 15の春プロジェクト

～心・育ち・学び・夢をつなぐ～

平成29年度 勝田中学校区保幼小中連携推進について

勝田中学校区保幼小中連携推進委員会
代表　　勝田中学校長　西村　睦美

1．　目　的

〇勝田中学校区の子どもたちの保幼小中15年間の育ちをつなぎ、一人一人の夢を実現する力を身につけさせる。　【キャリア教育の視点】

〇中学校卒業時までの15年間を見通した健全な心と体を育成し、社会を生き抜く力を身につけさせる。　【生きる力の育成】

〇規範意識を確立し、社会人としての自覚と責任が持てる素養を身につけさせる。　【規範意識の確立】

〇子どもたち一人一人の豊かな心と確かな学力を保障し、各校・園で個々の特性を生かした力を発揮させる。　【居場所づくり】

2．　組　織

〇勝田中学校区保幼小中連携推進委員会は、ひまわり園・勝田小学校・勝田東小学校・勝田中学校の連携を推進する会である。

〇推進委員会は、勝田中学校区の校・園長をもって組織し、代表（委員長）は、当該年度の勝田分室校・園長会議において決定する。

〇推進委員会の事務局は、代表校の教頭とし、保幼小中の連携にかかわる事務を担当する。

〇推進委員会のもとに、次の部会を置くものとする。

①学力向上部会（合同研修会を含む） 3校の教頭が企画運営、教務主任の力量を高める。	勝田中・西村校長
②生徒指導部会（保幼小中生徒指導連絡会）	勝田東小・宮川校長
③養護部会	勝田東小・宮川校長
④学校事務部会（事務共同実施）	勝田小・右手校長
⑤道徳部会（道徳教育推進協議会）	勝田小・右手校長

3．　名　称

〇勝田中学校区保幼小中連携を総称して
「かつたっ子15の春プロジェクト」とする。（略称『15の春プロジェクト』）

4．　保幼小中連携のテーマ

〇上記1の目的を達成するためのテーマ
「心をつなぐ　育ちをつなぐ　学びをつなぐ　夢をつなぐ」
（略称『心・育ち・学び・夢』）

5.　学校教育目標

かつたっ子 15 の春プロジェクト
夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく社会を生き抜く力を育む

勝田中学校『学びをひらく　心をひらく　未来をひらく』
勝田小学校『学びをつなぐ　心をつなぐ　未来をつなぐ　勝田っ子の育成』
勝田東小学校『もっと知りたい！　わかりたい！　できるようになりたい！
学ぼう　のびよう　東っこ』の育成

6.　具体的な内容

（1）心をつなぐ

〇おもいやりの心：相手の気持ちがわかる子、人の痛みに気づく子
〇すなおな心：素直に「ごめんなさい」と言える子
〇感謝の心：「ありがとう」という感謝の気持ちが持てる子

人権教育
道徳
人間力向上

（2）育ちをつなぐ

〇早寝・早起き・朝ごはん
〇あいさつ・返事：大きな声で、元気よく
〇時間：チャイムで動くチャイム着席、チャイムスタート
〇そうじ：前より美しく
〇けじめ：目で見て、目で聞いて、目で考える。
〇学習規律と生活規律

基本的生活習慣・
規範意識の確立
社会力向上

（3）学びをつなぐ

〇学年に応じた各学力テストの分析と具体的な対応策、授業改善策
〇学びのスタンダード→『かつたっ子授業のスタンダード』
〇基礎学力の反復練習と徹底
〇児童・生徒の力をつける授業改善
①ICT 教育の推進（ICT 機器の活用）
②ユニバーサルデザインの視点が生きる授業展開
③すべての教育活動に取り入れる「書く活動」
④スモールステップの確認
⑤振り返りシート、学校評価の反映
〇ユニバーサルデザインの視点を持った学級、学校
〇コミュニケーション能力を高める教育活動
〇「思考力・判断力・実践力」を養う教育活動

学力向上
教師力向上

『かつたっ子 15 の春プロジェクト　学びと育ちの連携表』の実践

（4）夢をつなぐ

〇「生き方」サポート→『夢講座』
①夢を持ち、夢を実現させようとする意欲を持たせる。
「将来どんな人になるか、どんな夢があるか、どんな生き方をするのか」等、考える機会や意識を持たせる。
②社会生活を送る上での、自覚と責任を育てる。
③社会での自立を果たす。
将来の就労を意識し、国民としての義務を果たす体力・気力を育てる。

○「つながり」づくり

①人と人との「つながり」を意識させる活動
②「つながろう」とする気持ちを育てる活動
③「つながり」をつくることのできる活動

異校種・校種間交流
地域交流・保護者交流

7.　推進計画

（1）授業改善→基本は「学校完結主義」で！

「学年完結」ではあるが、つまずきに立ち戻って「スパイラル方式」で！

①ICT 教育の推進
- デジタル教科書による授業展開の研究
- 各種 ICT 機器を活用した授業展開の研究

②ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善
- 視覚を助けるミニボード etc.

「かつたっ子授業のスタンダード」
学びのつながりを！

③「書く」活動の工夫

④スモールステップの確認

⑤振り返りシート、授業評価（児童・生徒アンケート等）の活用

（2）学力向上（9 年間の学びをつなぐ）

①学力分析と学力向上のための具体策の検討と実施
- 学校として行うこと
- 学級担任、教科担任として行うこと

継続・反復・確認・徹底

②家庭学習の習慣形成
- 家庭学習時間の確保
- 家庭学習の内容を明示
- 課題提出のチェックと徹底

『かつたっ子
15 の春プロジェクト
学びの連携表』

（3）学校・園交流、授業交流

①2 小学校と勝田ひまわり園との交流

②小学生ルームで教科担任制を体験
- 火曜日 5，6 校時
- 小学校教科英語、数学（算数）を中心に…

③授業参観
- 中学校から 2 小学校へ
  6 月 27 日（火）　勝田小学校へ
  10 月 23 日（月）　勝田東小学校へ
- 授業研究
  【勝田中学校】　11 月 22 日（水）ICT 教育研究発表会→第 2 回合同研修会

（4）職員研修

①校内研修

合同研究テーマ『学ぶ意欲をもち、自己表現の力を育てる』
- 自分の考えを持ち、正しく伝える力
- 4 領域の力（話す、読む、書く、聞く）
- 基盤としての確かな学力

勝田中学校　「知性・感性・耐性を鍛える教育活動の実践」
～授業の ICT 化とユニバーサルデザイン化による指導のさらなる工夫～
勝田小学校　「主体的に学び、認め合い、高め合う児童をめざして」
～自分で考え、表現できる楽しさを実感できる授業を通して～
勝田東小学校『どの子も意欲をもち、「わかる・できる」ようになる授業づくり
―算数科を中心にして―』

②合同研修会
- 第１回（ ８月１８日？）→15 の春プロジェクトの取組や学力課題など
- 第２回（11 月 22 日）→勝田中学校研究会参加
ICT 教育推進モデル校事業の授業研究会
- 第３回（ ２月 28 日）→中学校授業参観、まとめと次年度に向けた連携計画

（５）小学校から中学校へ
①キャリア教育の視点でつながる。→かつたっ子 15 年間の学びと育ち連携表の実践
- 「夢」を育てる。「個性」はわがままではなく、「特性を知ること」
- 「夢」を見る基盤となる「将来を考える力」「確かな学力」をつける。

②小中一貫教育
- 日常の児童・生徒理解を積み重ねる。
- 学習の積み上げ、カリキュラムの接続
- 中学校での専科教育（小学校英語、算数など）

（６）園から小学校へ
① 「心」と「育ち」の部分を中心にした保幼小中連携
② 小学校入学に向けた交流及び連結

これを実現するために…

① 「かつたっ子 15 の春プロジェクト　学びと育ちの連携表」	**Plan**
② 各校・園で実践	**Do**
③ 評価・検証	**Check**
④ 具体的な改善策を提示	**Action**

※「学びと育ちの連携表」の意義を校区の全教職員が理解し、実践する。
※15 歳のゴールや社会を生き抜く人として必要な資質を意識しながら、保育や教育を積み上げる。

８．　部会の活動

【各部会の活動】

① 経営部会（校・園長会）←担当：勝田小学校　右手校長
■月例開催
■開催場所：勝田総合支所
■活動内容
- 『かつたっ子 15 の春プロジェクト』推進策の検討

・進捗状況の把握、推進計画の修正、改善策の検討
・各校の学校経営上の成果と課題の交流

② 運営部会（教頭会）←担当：勝田中学校　田中教頭

■月例開催

■開催場所：勝田中学校

■活動内容

・『かつたっ子 15 の春プロジェクト』合同研修会の企画・運営を行う。
・学力向上部会の活動内容を検討、指導助言する。
・各校担当者が行っている部会の取組状況を具体的に把握し、各校教職員の共通理解と取組を促進する。
・小小連携や小中連携の交流行事や交流授業をコーディネートする。

③ 学力向上部会（各校教務主任＋教頭代表）←担当：勝田中学校　西村校長

■適宜開催

■開催場所：中学校

■活動内容

・『15 の春プロジェクト』で連携して取り組む学力向上対策を提案する。
・義務教育９年間の学びの積み上げを検討し、学年間の円滑な接続を支援する。
　学習規律、基礎学力の定着、前学年の復習、学年のまとめ、課題提出
　家庭学習の習慣形成、長期休業中の課題（春・夏・冬季休業）
・校区の学力分析を共有し、具体的な授業改善策の提示をリードする。
　全国学テ、アセスメントテストの分析・共有
　県学力学習状況調査結果の分析を活用して合同研修する。
　各校の学力向上に資する授業改善を推進する。
・子どもたちの力をつける授業の手法、授業の振り返りシートやアンケート等、教師の授業力向上に資する取組を進める。

④ 生徒指導部会（保幼小中生徒指導連絡会）←担当：勝田東小学校　宮川校長

■年５回開催

■開催場所：勝田総合支所

■活動内容

・各校・園の生徒指導上の課題を共通理解し、具体的な対応策を講じる。
・かつたっ子の規範意識を育てる。（成長過程に応じた生活規律の徹底）
・社会で通用する力を身につけさせる（＝就労支援）ための連携を促進する。
キャリア教育の視点を明確にする。
・スマホなど SNS に関わる校区の実態把握と対応策を検討し、実践する。
　アンケートの実施、家庭でのルール作り、メディアへの適切な対応 etc.
　情報モラル教育実践の交流・夜９時以降のスマホの預かり
・いじめや人権問題に対する健全な意識を高め、いじめや差別を許さない心と態度を育てる。
　校内いじめ防止対策委員会の設置・活動状況の交流
・関係機関との連携協力を進める。

⑤ 養護部会←担当：勝田東小学校　宮川校長

■各学期末開催

■開催場所：勝田東小学校
■活動内容
・子どもたちの心身の健康や生育歴、家庭の実態等の情報交流と連携を進める。
・子どもたちの生活習慣や生活実態を把握し、たくましい心と体づくりに資する対策を提案する。
・アレルギー対応に関わる情報共有

⑥ 学校事務部会（共同実施）←担当：勝田小学校　右手校長
事務共同実施上の課題と成果の共有・市への提案事項の検討

⑦ 道徳部会←担当：勝田小学校　右手校長
中学校との交流授業

【研究の交流】

① ユニバーサルデザインの視点をもった教育の推進と教育環境の整備
・教室環境・掲示等の共通理解

② ICT 教育の推進
・視覚に訴える教材の工夫
・デジタル教科書の研究
〈勝田中学校の取組〉
英語科・国語科授業での活用及び授業展開の研究
〈小学校の取組〉
小学校「英語」移行措置対応デジタルコンテンツの活用
算数デジタル教科書の利用

③ 「かつたっ子授業のスタンダード」の実践

④ 家庭学習の習慣形成
・日常の家庭学習（家庭学習の手引の共通理解）
・長期休業中の家庭学習（春、夏、冬）
小学校６年生の統一課題は中学校に提出する。
中学校では、課題を活用した新入生テストを実施する。

⑤ 問題データベースの活用

⑥ 校務支援システムの研究
・勝田中学校の取組に関わる経過報告と情報交換

【保小連携】

①保小連絡会（年３回）
②保小交流会（5 年生、低学年他）
③小学校教員の園訪問・研修
④就学に係る連携

【小小、小中連携】

①研修の交流
②合同研修（年間３回）→15 の春プロジェクト全教職員による研修
③合同行事→演奏会・講演会・参観日・夢講座
④交流授業→英語・算数
⑤小学校間の行事連携